

3 学期終業式あいさつ

本日は3学期の終業式であり、一年間を振り返る節目の日です。皆さんにとって、この一年はどのような一年でしたか。今年度は、皆さん方の多方面での活躍が地域の方々にも注目された一年になったと思います。11月に行なった農業祭では、生徒による実行委員会が中心となり運営してくれて、多くの来場者に来ていただき、テーマにあったように笑顔あふれるすばらしい農業祭となりました。また、日々の教育活動、生徒会・農業クラブ・家庭クラブ活動、部活動でも努力し、毎学期表彰伝達を行っていますが多くの生徒が表彰されました。そして皆さんの得意とする分野で活躍し輝いてくれました。何人もの生徒が全国や世界を舞台に活躍してくれました。その中のいくつかは、新聞やテレビ等で報道していただきました。そうした皆さんの姿を見て、着実に力を身に付けていってくれていると実感でき、とてもうれしく感じました。

生徒会誌の『緑園』の巻頭言にも書かせてもらいましたが、ここでも話をさせてください。

それは、「まずはやってから考えよう」ということです。せっかく挑戦のチャンスがあっても、「失敗したらどうしよう」と不安になり、結局何もできない人は少なくありません。しかし「やってから考える」の精神があれば社会に出てからも役立ちます。前向きさをアピールできるので、相手にも良い印象を与えることができます。

「失敗することを恐れるより、何もしないことを恐れろ」この言葉は、オートバイメーカーとして世界的に有名な本田技研の創業者の、本田宗一郎氏の名言です。人は大舞台に立つとき、必ずといっていいほど失敗を想像し不安になります。このまま逃げてしまいたくなくなることがありませんか？それは決して悪いことではありません。ただ、何もしないで失敗ばかりを恐れるより、失敗してでも何かを成し遂げる方がきっと後悔がありません。結果はどうであれ、「何事も初めの一歩が大切」ということです。

「成功」という言葉の反対語は「失敗」ではなく「何もしないこと」です。つまり、何かにチャレンジしての「失敗」は、そのやり方ではうまくいかなかったということが分かる成功への道筋を表しています。私たちは「失敗したら・・・」と考えてしまって、新しいことへの一歩を踏み出せないことはたくさんあります。しかしチャレンジすることで、私たちは失敗から多くのことを学び、次の成長へとつなげることができるのも事実です。そう考えるとチャレンジすることに前向きになれます。また心がワクワクするような感じもします。皆さんには新しいことにチャレンジする勇気をもって、まず第一歩を踏み出してほしいと思います。また、そうすることで新しい自分との出会いや今より輝く自分の存在に気づくことができるのではないかと思います。

やればできるという経験をすれば人は変わります。また、一生失敗する覚悟を決めれば人は、一生成長できます。「まずはやってから考えよう」と自分に言い聞かせてください。不安な背中を押してくれる良い言葉だと思います。

もう一つ、年度末にあたって皆さんにお話ししておきます。

【提示「今〇ら」】皆さんはこの〇の中にどんな一文字を思い浮かべますか。

「今さら」と思った人： 高校生活は2年生はあと1年しかない、1年生はあと2年しかないと考えたと「もう、今さら」という投げやりで、諦めかけた後ろ向きの気持ちになります。

「今から」と思った人： 高校生活まだ、1年あるいは、2年あるぞと捉えれば、「さあ、今から」という希望、期待、来年度にける新たな目標も見えてきます。

「今なら」と思った人： 出雲農林高校で2年あるいは1年学んだ今なら決意、勇気、行動、一歩踏み出す意思のある言葉になります。

「今さら」と諦めるか、「今から」と決断するか、「今なら」と行動するか、今の皆さんの心にはどの今があるでしょう。どうせ心に思うなら、プラスの言葉を思い浮かべて欲しいです。4月からそれぞれ進級します。一人一人が「今から」「今なら」の気持ちを抱くにはよい時期だと思います。皆さんは着実に成長しています。そして残された高校生活でさらに成長していきます。

それでは、出雲農林高生の皆さん、自分を大切に、自分を信じ、自分に挑戦し、周りではなく自分に打ち克ち、強くなってください。そして人に対しては思いやりの気持ちを持って接してください。自分の言動については、その場の感情だけで行動するのではなく、自分の感情を自分でコントロールし、自分自身も周りの人も傷つけない判断力を身に付けてください。来年度の活躍を期待しています。